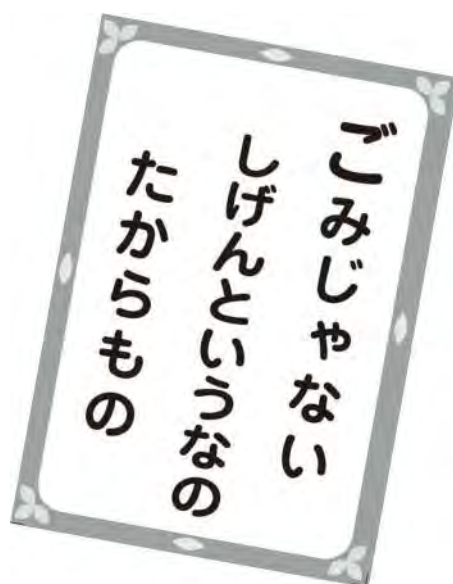


令和2年度 ごみ減量・もったいないねット山形 総会



(ごみ減量すすむくん・かなえちゃん“かるた”から)

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 令和元年度事業報告（案）及び
収支決算報告（案）について
監査報告 |
| 第2号議案 | 令和2年度事業計画（案）及び
収支予算（案）について |
| 第3号議案 | 役員選任について |

令和元年度役員

(平成30年5月30日選任)

会 長	副会長	幹 事	監 事
金 澤 和 子	長 瀬 洋 子 松 田 和 巳	鹿 野 順 子 齋 藤 淳 鈴 木 隆 男 中 村 明 千 荒 井 安 雄 (令和元年5月30日～)	渡 辺 明 渡 部 和 生

会員数

時点	個 人	団体	事業者	計
設立総会時	35人	14団体	13事業者	62
H31.4.30	498人	39団体	179事業者	716
R2.4.30	497人	38団体	172事業者	707

令和元年度部会体制

部 会	部会長	副部会長
買い物エコフレンド部会	中 村 明 千	早 坂 恵美子 武 田 さおり
5 R 情 報 発 信 部 会	鈴 木 隆 男	上 野 清 子 井 上 英 俊
ごみ減量学習部会	齋 藤 淳	佐 藤 弘 子 木 村 榮
広 報 部 会	荒 井 安 雄	伊 藤 美代子
ごみ減量アドバイザー部会	鹿 野 順 子	越 後 恵 美 畠 山 優 子

1 総会・役員会

項 目	区分	期 日	内 容
総 会		5月30日	議案審議、情報交換「花王のプラスチック容器に関する取り組み」
第1回役員会		4月15日	総会議案の協議、総会の進め方について
第2回役員会	拡大	9月3日	部会活動について
第3回役員会		11月19日	会全般及び部会活動について
第4回役員会	拡大	2月7日	令和元年度予算執行状況及び今後の執行見込みについて
第5回役員会		3月27日	令和2年度の事業計画及び総会・第2部情報交換について

2 主な事業

項 目	開 催 日	摘 要
イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン イオン電子マネー寄贈受入	4月8日	イオン山形北店より寄贈 平成30年度分受領額 29,400円
ごみ減量ロビー展 [市役所1階エントランスホール]	5月28日 ～5月31日	ブース設置、パネル展示、分別クイズ、エコいけばな、ごみ減量等啓発品配布、DVD上映
ごみ減量・もったいないねット山形 ウインドーディスプレイ	5月7日 ～6月1日	場所：山形市中央駐車場ウインドーディスプレイ 本会活動のパネル及びエコいけばな作品展示
YTS「提言の広場」出演	6月28日	テーマ：「食品ロスの削減を進めるために」 出演者：金澤会長
山形市市制施行130周年記念式典	7月1日	本会が市政功労者（社会福祉等功労）として表彰を受けた。
イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン	10月11日	会場：イオン山形北店
令和元年やまがた環境展参加 [山形国際交流プラザ]	10月26日 ～10月27日	主催：令和元年やまがた環境展実行委員会 ブース出展（パネル展示、ワークショップ、分別クイズ）
ごみ減量もったいないキャンペーン [イオン山形北店]	11月3日	共催：山形市 分別クイズ、ワークショップ、ごみ減量等啓発品配布
30・10運動啓発用コースター 等受入式 [山形市役所 特別応接室]	12月12日	山形環境保全協同組合様（本会会員）、山形市再生資源協同組合様（本会会員）より「30・10運動啓発用コースター及びマグネット」が山形市へ寄贈され、山形市と本会が連携して市民へ広く啓発を行うため、市長より当会へコースターが進呈された。
第11回ごみ減量すすむくん・かなえちゃんかるた大会共催 [市総合スポーツセンター]	2月15日	主催：山形中央ライオンズクラブ（本会会員） 共催：本会、山形センチュリーライオンズクラブ 後援：山形市、山形市教育委員会
第12回やまがた市民活動まつり参加 [霞城セントラル1階アトリウム]	2月16日	主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会 共催：山形市、山形市市民活動支援センター ブース出展（活動紹介）、分別クイズ、ごみ減量等啓発品配布
広報やまがた掲載（山形市発行）	随 時	特集記事 会の活動紹介など



（30・10運動啓発用グッズ受入式）



（令和元年やまがた環境展）

3 各事業部会

部会ごとにスタッフが主体となって、企画・準備から各事業実施までを行った。

(1) 買い物エコフレンド部会 企画会議：4回

食品用容器の店頭回収や雑がみリサイクルの取組み、簡易包装の推進などについて、消費者・事業者・行政が連携したごみ減量とリサイクルの推進を目指し、啓発活動を行った。
また、キャンペーン時配布用啓発品として、「食品用容器リサイクル マナーアップ運動用ポケットティッシュ」を作成した。

項 目	期 日	摘 要
① ごみ減量ロビー展への協力	5月28日 ～5月31日	会場：山形市役所エントランスホール 内容：本会ブース全般について広報・啓発（雑がみ・トレイ・事業者会員パネル等の紹介）
② 食品トレイリサイクルキャンペーン	6月20日 ～7月10日	会場：市内スーパー 7店舗 内容：食品用容器の分別パネルを展示し、店頭回収利用とマナーアップの呼びかけ、啓発品の配布を行った。 （事業者・山消連・山形市との連携）
③ 雑がみリサイクル・簡易包装推進キャンペーン	10月10日 ～11月8日	会場：市内スーパー 10店舗 内容：雑がみリサイクル・簡易包装推進の呼びかけ、啓発品の配布 （事業者・山消連・山形市との連携）
④ キャンペーン時配布品の作成・配付	6月～12月	食品容器リサイクル マナーアップ運動用ポケットティッシュ（6,000個）作成・配布

【延べ 88名スタッフ協力】



(食品容器リサイクル マナーアップ運動用
ポケットティッシュ)



(企画会議)



(食品トレイリサイクルキャンペーン
ヨークベニマル南館店)



(雑がみリサイクル・簡易包装推進キャンペーン
元氣市場たかはし上町店)

(2) 5 R情報発信部会 企画会議：4回

5 R情報の発信のため、もったいないマップをリニューアルして新たに Ver. 6 を作成した。
さらに、もったいないマップに掲載されている市内事業者をスタッフが取材し、最新の情報を収集し、情報誌やホームページを利用して情報の発信を行った。

項 目	期 日	摘 要
① 各種団体等の情報収集	6 月～	対象：市内の事業者、各種団体等（マップ掲載事業者取材実施：5 事業者）
② 情報誌、ホームページによる情報発信	随 時	ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
③ もったいないマップ Ver. 6 の作成	8 月～2 月	作製枚数：4, 0 0 0 部 スーパー各店舗、公民館、コミュニティセンターに配布

【延べ 30名スタッフ協力】



(企画会議)



(取材風景)



(もったいないマップ Ver. 6)

(3) ごみ減量学習部会 企画会議：5回

ごみ処理の現状を学び、また、資源の再利用方法を体験し、地域や職場等においてごみ減量等の取組みを広めるため、各種学習会を実施した。

項 目	期 日	参加者	摘 要
① ごみ減量学習会	6月18日	63名	「理由を知れば納得！ごみ・資源物の分別ルールのおさらい」 講師：山形市再生資源協同組合 事務局 庄司里沙氏、市廃棄物指導課職員
② リサイクル関連施設研修会	10月3日	43名	エネルギー回収施設（川口）、 （株）高良山形営業所、山形資源（株）
③ リサイクル体験教室	11月22日 11月28日 12月5日	24名 20名 21名	エコクッキング教室 講師：遠藤 紀江アドバイザー 3日間同一献立

【延べ 85名スタッフ協力】



(企画会議)



(ごみ減量学習会)



(リサイクル関連施設研修会)



(エコクッキング教室)

(4) 広報部会 企画会議：4回

会や会員の活動情報及びごみ減量等の取り組みについて、情報発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めるため、フェイスブック更新や情報誌の発行を行った。

また、家庭における食品ロス削減をより一層呼びかけるため、「家庭系食品ロス削減啓発用クリアファイル」を作成した。

項 目	期 日	摘 要
① フェイスブック・ホームページによる情報発信	随 時	会の活動、ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
② 情報誌の発行	11月、3月	第25号、第26号 各4,000部
③ 家庭系食品ロス削減啓発用クリアファイルの作成	9月～11月	作成枚数：2,000枚
④ 各種取材	随 時	全体・各部会事業に参加し取材を行う

【延べ 31名スタッフ協力】



(企画会議)



(情報誌 第25号・第26号)



(家庭系食品ロス削減
啓発用クリアファイル)

(5) ごみ減量アドバイザー部会 企画会議：4回

ごみの減量や資源の再利用の必要性、実践方法を広めるため、本会会員の中から「ごみ減量アドバイザー」を登録し、市内の各任意団体やPTAを含む学校などが主催する「ごみ減量に関する学習会」に派遣した（計12回、延べ471名参加）。

また、山形市との共催により「もったいないアカデミー」を開催し、市民の方にごみ減量の方法をお伝えした。

項 目	期 日	参加人数	摘 要
①派遣制度のPR	随 時	—	派遣制度PRチラシ、ラジオ等
②新規アドバイザー募集	～7月	—	
③スキルアップ研修会 及び新規アドバイザー登録証交付式	7月26日（金） 〔市役所 1002会議室〕	15名	アドバイザーのための研修会等
④アドバイザー派遣	4月22日（月） 〔第九中〕	14名	第九中学校総合文化部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	5月8日（水） 〔第一中〕	18名	第一中学校総合文化部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	5月24日（金） 〔第八中〕	7名	第八中学校総合活動部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	8月2日（金） 〔江南公民館〕	28名	江南公民館寿大学 「風呂敷活用講座・生活 一般の節約術」
	9月11日（水） 〔金井小〕	30名	金井小学校6年2組総合学習 「食品ロス削減」
	9月22日（日） 〔文翔館前広場〕	200名	チェリアフェスティバル山形2019 「エコいけばな」
	10月16日（水） 〔やよい町内会集会所〕	24名	やよい町内会 「食品トレイ・雑がみ分別クイズ」
	10月20日（日） 〔楯山小〕	68名	楯山小学校4年PTA 親子行事「マイバッグ作り」
	11月7日（木） 〔南沼原コミュニティセンター〕	20名	もくよう倶楽部 暮らしの講座 「非常用袋や巾着」
	11月22日（金） 〔中央公民館〕	23名	ごみ減量学習部会 「エコクッキング教室 1回目」
	11月28日（木） 〔中央公民館〕	19名	ごみ減量学習部会 「エコクッキング教室 2回目」
	12月5日（木） 〔中央公民館〕	20名	ごみ減量学習部会 「エコクッキング教室 3回目」
⑤もったいない アカデミー	1月28日（火） 2月 4日（火） 〔市役所 1002会議室〕	30名 21名	「EMで楽ちんエコ生活のすすめ」 「エコいけばなで備忘板作り」

【延べ 51名スタッフ協力】



(企画会議)



(エコいけばな)



(食品トレ・雑がみ分別クイズ)



(マイバッグ作り)



(非常用袋や巾着)



(もったいないアカデミー
～EMでらくちん生活のすすめ～)



(もったいないアカデミー
～エコいけばなで備忘板作り～)

令和元年度収支決算報告（案）
（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (B)-(A)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,600,000	1,600,000	0	
	山形市補助金	1,600,000	1,600,000	0	山形市より
その他収入		64,000	56,008	△ 7,992	
	繰越金	29,501	29,501	0	平成30年度より
	その他収入	34,499	26,507	△ 7,992	学習会参加費、預金利子
合 計		1,664,000	1,656,008	△ 7,992	

支出の部

（単位：円）

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (B)-(A)	摘要
大科目	中科目				
管理費		475,000	470,441	△ 4,559	
	会議費	240,000	238,149	△ 1,851	資料印刷費等
	事務費	115,000	112,325	△ 2,675	OA機器リース代、傷害保険料、事務用品
	通信費	120,000	119,967	△ 33	総会等資料郵送費
事業費		1,184,000	1,155,948	△ 28,052	
	広報事業費(広報部会)	361,000	356,667	△ 4,333	HP管理・更新代、情報誌印刷・郵送費等
	実践活動事業費	788,000	764,281	△ 23,719	
	(買い物エコフレンド部会)	110,000	108,547	△ 1,453	キャンペーン用啓発品作成費
	(5R情報発信部会)	128,000	126,999	△ 1,001	5R情報発信用啓発品作成費、各種団体等の情報収集用経費
	(ごみ減量学習部会)	210,000	209,482	△ 518	ごみ減量学習会、リサイクル関連施設研修会、エコクッキング教室開催必要経費
	(ごみ減量アドバイザー部会)	180,000	166,158	△ 13,842	アドバイザー派遣・もったいないアカデミーの開催必要経費
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	160,000	153,095	△ 6,905	食品ロス削減啓発品作成費、ごみ減量かるた大会参加賞等
	減量すすむくん基金繰出金	35,000	35,000	0	
	予備費	5,000	0	△ 5,000	
合 計		1,664,000	1,626,389	△ 37,611	

収入金額 1,656,008 円
 支出金額 1,626,389 円
 差引金額 29,619 円（令和2年度に繰り越し）

【特別会計】令和元年度減量すすむくん基金収支決算報告（案）
（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (B)-(A)	摘要
ごみ減量すすむくん寄付金	9,064	11,671	2,607	減量すすむくん着ぐるみクリーニング代充当を目的として
その他収入	36,936	36,936	0	
繰越金	1,936	1,936	0	平成30年度より
繰入金	35,000	35,000	0	減量すすむくん基金繰出金より
合 計	46,000	48,607	2,607	

支出の部

（単位：円）

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (B)-(A)	摘要
着ぐるみクリーニング費	46,000	45,870	△ 130	
合 計	46,000	45,870	△ 130	

収入金額	48,607 円
支出金額	45,870 円
差引金額	2,737 円(令和2年度に繰り越し)

監 査 結 果 報 告 書

平成30年度ごみ減量・もったいないねット山形の収支決算について、関係帳簿、預金通帳等を監査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されておりましたので、報告します。

ごみ減量・もったいないねット山形
会 長 金澤 和子 様

平成31年 4月 8日

ごみ減量・もったいないねット山形

監 事 渡辺 明 

監 事 渡部 和生 

令和2年度事業計画（案）

1 運営方針

- ◎ 5つのR（リフューズ〔Refuse：辞退〕、リデュース〔Reduce：発生抑制〕、リユース〔Reuse：再使用〕、リペア〔Repair：修理〕、リサイクル〔Recycle：再生利用〕）を推進する取り組みを市内全域に広めます。
- ◎ 物を大事に、感謝する心、リスペクト【Respect】を大切にライフスタイルやビジネススタイルを見直します。
- ◎ 会や会員の情報を発信・共有し、会員や活動の輪を広げます。
- ◎ 「もったいない」という共通の認識のもとに、会員の声を聞き、開かれた運営を行います。

2 総会・役員会

項 目	区分	期 日	内 容
総 会		6月3日	議案審議
第1回役員会		4月15日	総会議案の協議、総会の進め方について
第2回役員会	拡大	8月	部会活動について
第3回役員会		11月	会全般及び部会活動について
第4回役員会	拡大	1月	令和2年度予算執行状況及び今後の執行見込みについて
第5回役員会		3月	令和3年度の事業計画及び総会の進め方について

3 主な事業

項 目	開 催 日	摘 要
ごみ減量ロビー展	6月3日 ～6月5日	会場：山形市役所1階エントランスホール 内容：エコいけばな展示、雑がみ・食品トレーリサイクルキャンペーン、会員企業紹介
ごみ減量・もったいないねット山形ウィンドウディスプレイ	5月～6月	山形市中央駐車場ウィンドウディスプレイにおける本会の活動紹介
第12回ごみ減量すすむくん・かなえちゃんかるた大会	8月	かるた大会 会場：市総合スポーツセンター武道場 主催：山形中央ライオンズクラブ 共催：本会 後援：山形市、山形市教育委員会
やまがた環境展2020参加	10月	会場：山形国際交流プラザ 主催：やまがた環境展2020実行委員会 「環境活動・啓発・体験ゾーン」にブース出展 パネル展示、ワークショップ、分別クイズ実施
第13回やまがた市民活動まつり参加	2月	ごみ減量・もったいないねット山形活動紹介 会場：霞城セントラル1階アトリウム 主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会 共催：山形市、山形市市民活動支援センター
広報やまがた掲載（山形市発行）	随 時	特集記事 会の活動紹介等

4 各事業部会

(1) 買い物エコフレンド部会

店頭回収の取組みや簡易包装の推進など、事業者と消費者が取り組める行動の情報を共有します。また、買い物袋持参の拡大・定着等の取組みを通し、消費者・事業者・行政という皆が連携したごみ減量とリサイクルの推進を目指します。

項 目	期 日	摘 要
①ごみ減量ロビー展への参加	6月3日 ～6月5日	食品用容器や雑がみのリサイクル啓発キャンペーン、分別クイズ
②食品トレーリサイクルキャンペーン	6月～7月	市内スーパーにて食品トレー・透明容器の店頭回収の呼びかけ、啓発品の配布
③雑がみリサイクル・簡易包装推進キャンペーン	10月～11月	市内スーパーにて雑がみリサイクル・簡易包装推進の呼びかけ、啓発品の配布
④ごみ減量もったいないキャンペーンへの協力	11月	市内大型総合スーパーの周年祭にて食品用容器・雑がみのリサイクルの呼びかけ、分別クイズ
⑤キャンペーン時配布用啓発品作成・配布	6月～11月	キャンペーン時配布用啓発品を作成

(2) 5R情報発信部会

市内のNPO、各種団体、事業者団体等のごみ減量や資源の再利用の取組みについて、情報を収集・発信し、消費者及び事業者が利用できるごみ減量等の取組み拡大を目指します。

項 目	期 日	摘 要
①各種団体等の情報収集	6月～3月	対象：市内のNPO、各種団体、事業者等
②フェイスブック等による情報発信	随 時	ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
③情報発信ツールの作成	6月～3月	ごみ減量や資源再利用に活用

(3) ごみ減量学習部会

ごみ分別の現状を学び、また、資源の再利用方法を体験し、家庭や地域、職場等においてごみ減量等の取組みを実践します。

項 目	期 日	摘 要
①ごみ減量学習会	6月16日	自動車廃材をリサイクルしてライフジャケットに（プラスチック問題関連）
②リサイクル関連施設研修会	10月8日	
③リサイクル体験教室	11月18日 11月27日 12月3日	エコクッキング教室

(4) 広報部会

情報誌や様々な情報媒体を通して、会や会員の活動情報やごみ減量等の情報を発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めます。

項 目	期 日	摘 要
①フェイスブック・ホームページによる情報発信	随 時	会の活動、ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
②情報誌の発行	1 1 月、3 月	第 2 7 号、第 2 8 号 各 4, 0 0 0 部
③ごみ減量啓発グッズの作成	6 月～1 1 月	食品ロス削減啓発用紙芝居（※）の作成
④各種取材	随 時	全体・各部会事業に参加し取材を行う

(5) ごみ減量アドバイザー部会

ごみの減量や資源の再利用の必要性や実践方法を会員自らが学び、地域や学校等においてごみ減量の取組みを広めます。

項 目	期 日	摘 要
①アドバイザー派遣	随 時	地域の集まりや学校など
②新規アドバイザー募集	5 月～6 月	
③スキルアップ研修会および新規アドバイザー登録証交付式	7 月	アドバイザーのための研修会
④もったいないアカデミーの開催	1 月～2 月	山形市と共催、2 回実施

令和２年度収支予算（案）
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

収入の部

(単位:円)

科 目		2年度 予算額 (A)	元年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,600,000	1,600,000	0	
	山形市補助金	1,600,000	1,600,000	0	山形市より
その他収入		64,000	64,000	0	
	繰越金	29,619	29,501	118	令和元年度より
	その他収入	34,381	34,499	△ 118	学習会参加費、預金利子
合 計		1,664,000	1,664,000	0	

支出の部

(単位:円)

科 目		2年度 予算額 (A)	元年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
管理費		475,000	475,000	0	
	会議費	240,000	240,000	0	資料印刷費等
	事務費	115,000	115,000	0	事務用品、OA機器リース、傷害保険料
	通信費	120,000	120,000	0	資料等送付費
事業費		1,184,000	1,184,000	0	
	広報事業費(広報部会)	361,000	361,000	0	HP管理更新、情報誌印刷・郵送費等
	実践活動事業費	788,000	788,000	0	
	(買い物エコフレンド部会)	70,000	110,000	△ 40,000	食品トレー等リサイクルキャンペーン キャンペーン用啓発品作成
	(5R情報発信部会)	58,000	128,000	△ 70,000	5R情報啓発品作成
	(ごみ減量学習部会)	195,000	210,000	△ 15,000	ごみ減量学習会、リサイクル関連施設 研修会、エコクッキング教室開催
	(ごみ減量アドバイザー部会)	150,000	180,000	△ 30,000	アドバイザー派遣 もったいないアカデミー開催
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	315,000	160,000	155,000	食品ロス削減啓発紙芝居作成 かるた大会参加賞代
	減量すすむくん基金 繰出金	35,000	35,000	0	
予備費		5,000	5,000	0	
合 計		1,664,000	1,664,000	0	

【特別会計】令和２年度減量すすむくん基金収支予算（案）

（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目	2年度 予算額 (A)	元年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
減量すすむくん寄付金	8,263	9,064	△ 801	減量すすむくん着ぐるみクリーニング代 充当を目的として
その他収入	37,737	36,936	801	
繰越金	2,737	1,936	801	令和元年度より
繰入金	35,000	35,000	0	減量すすむくん基金繰出金より
合 計	46,000	46,000	0	

支出の部

（単位：円）

科 目	2年度 予算額 (A)	元年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
着ぐるみクリーニング費	46,000	46,000	0	
合 計	46,000	46,000	0	

第3号議案

役員選任について (任期：令和2年度総会～令和4年度総会)

現役員の任期満了に伴い、規約に基づき以下の通り会長1名、副会長2名、幹事5名、監事2名を選任するものです。

役職名	氏名	当会での役職等
会 長	かなざわ かずこ 金澤 和子	令和元年度 会長
副 会 長 副 会 長	ながせ ようこ 長瀬 洋子 まつだ かずみ 松田 和巳	令和元年度 副会長 令和元年度 副会長
幹 事	なかむら みようせん 中村 明 千	令和元年度 幹事 同 買い物エコフレンド部会 部会長
幹 事	すずき たかお 鈴木 隆男	令和元年度 幹事 同 5 R 情報発信部会 部会長
幹 事	さいとう じゅん 齋藤 淳	令和元年度 幹事 同 ごみ減量学習部会 部会長
幹 事	あらい やすお 荒井 安雄	令和元年度 幹事 同 広報部会 部会長
幹 事	かの じゅんこ 鹿野 順子	令和元年度 幹事 同 ごみ減量アドバイザー部会 部会長
監 事 監 事	わたなべ あきら 渡辺 明 わたなべ かずお 渡部 和生	令和元年度 監事 令和元年度 監事

ごみ減量・もったいないねット山形 規約

(名称)

第1条 この会は、「ごみ減量・もったいないねット山形」(以下「会」という。)という。

(目的)

第2条 この会は、市民、事業者、行政が、山形市域におけるごみの減量及び資源の再利用(以下「ごみ減量等」という。)を推進するために、共に考え、実践し、相互に協力・連携を図り、循環型社会の形成をめざす。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) ごみ減量等のための情報発信
- (2) ごみ減量等のための実践活動
- (3) その他、この会の目的を達成するための必要な事業

(会員)

第4条 この会の会員は、市民、市民団体、事業者、事業者団体及び山形市で構成する。

(入会・退会)

第5条 入会しようとする者は、入会申込書を提出することとする。

2 退会するときは、退会届を提出することとする。

(役員)

第6条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干名
- (3) 幹事 10人以内
- (4) 監事 2人

(役員を選任)

第7条 役員は、総会において会員のうちから選任する。

2 副会長のうち、1人は山形市のごみ減量を所管する部長が務める。

3 前条にあげる役員は、相互に兼ねることができない。

(役員の職務)

第8条 会長は、この会を代表し、業務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 幹事は、会長の指示により、会務を処理する。

4 監事は、会計を監査し、その結果を会に報告する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(アドバイザー)

第10条 この会に、アドバイザーを置くことができる。

2 アドバイザーは、必要に応じ会長が依頼する。

(総会)

第11条 総会は、毎年1回会長が招集する。ただし、必要に応じ臨時総会を開催することができる。

2 総会の議長は、総会出席会員の中から選出する。

(総会の定足数)

第12条 総会は、会員の過半数の出席がなければ開催することができない。ただし、委任状を提出した者は出席者とみなす。

(経費)

第13条 この会の経費は、市の補助金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第14条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 会は、事業年度開始の日から総会の日までの本会予算について、前年度の収支予算に準じて執行することができる。

(議決事項)

第15条 総会は、次の事項を議決する。

(1) 規約の変更

(2) 事業計画および収支予算

(3) 事業報告および収支決算

(4) その他、この会の運営に関する重要な事項

(議決)

第16条 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(役員会)

第17条 役員会は、会長、副会長、及び幹事をもって構成し、必要に応じ会長が招集する。

2 役員会の議長は、会長とする。

3 役員会は、総会に付議する事項、会の運営に関する事項等を審議する。

4 役員会は、その他会長が必要と認めた事項について協議し、事業を運営する。

(事務局)

第18条 当分の間、事務局を山形市のごみ減量を担当する課に置く。

(委任)

第19条 この規約に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、役員会において別に定める。

附 則

1 この規約は、平成18年12月16日から施行する。

2 この会の設立当初の役員の任期は、第9条1項の規定にかかわらず、成立の日から平成20年総会の日までとする。

3 この規約は、平成21年5月30日から施行する。

4 この規約は、平成22年5月30日から施行する。



“もったいない”
からごみ減量!!

みんなでごみ減量・ リサイクルに取り組もう!

市民の皆さんのごみ減量に対する意識の高まりにより、古紙のリサイクルや食品用容器の店頭回収などの取り組みが広がっています。しかし、ごみの中にはまだまだ減らせるものが含まれています。さらなるごみ減量のため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

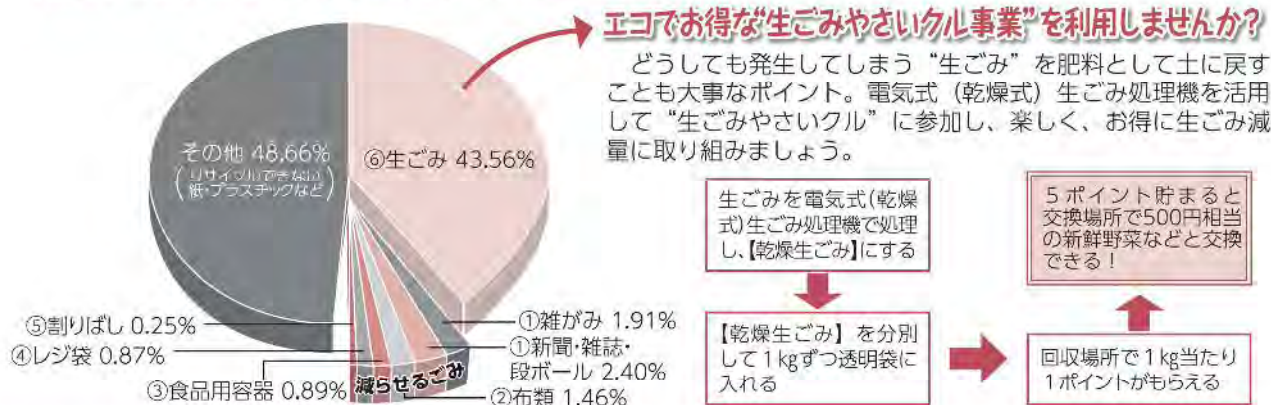
☎ごみ減量推進課 ☎内線698

もやせるごみに含まれる資源物の推移

家庭系もやせるごみ組成分析（山形市調査）



《家庭から出されるもやせるごみの内訳（重量ベース）》（令和元年度山形市調査）



ごみ減量ワンポイント ～ごみの中にはまだまだ“もったいない”がいっぱい!～

① 雑がみなどの紙類	雑がみとは、新聞、雑誌、段ボール、紙パック以外のリサイクルできる紙（空き箱、包装紙、パンフレットなど）です。雑がみ、新聞、雑誌、段ボールに分別して、資源回収やごみ集積所（ペットボトルの収集曜日）に出してください。
② 布 類	ボタンやファスナーは取らずに資源回収に出してください。また、資源物引取事業所へ持ち込むこともできます（もやせるごみに出す場合はボタンやファスナーは取り除いてください）。
③ 食 品 用 容 器	スーパーでは環境に配慮した取り組みとして、食品用容器の回収をしています。食品用容器をリサイクルすれば、ごみ減量効果は絶大です。透明容器や発泡トレーの店頭回収にご協力ください。
④ レ ジ 袋	平成20年のレジ袋無料配布中止の取り組み開始により、ごみとして捨てられるレジ袋は減ってきています。また、スーパー・百貨店でのマイバッグ持参率は約90%という高い数値です。コンビニエンスストアやホームセンター、ドラッグストアなどでの買い物の際も、マイバッグの持参をお願いします。
⑤ 割 り ば し	マイ箸を上手に活用し、使い捨てのライフスタイルを見直しましょう。マイ箸以外にも、繰り返し使えるエコボトルや食器などを活用して、物を大事にする習慣付けを行いましょう。
⑥ 生 ご み	水切りの徹底で生ごみの重さを減らすことができます。また、肥料として土に戻すこともお勧めです。生ごみ処理機の購入補助制度をご利用ください（詳しくは、ごみ減量推進課へお問い合わせください）。

食べ残しはもったいない！ ～「30・10運動」で食品ロス削減に取り組みましょう～

「食品ロス」とは、まだ食べられる状態にもかかわらず廃棄される食品のことです。日本における食品ロスは年間約643万トン発生していると推計されており、これは、製造過程で発生する規格外品や売れ残り、飲食店での食べ残し、家庭における食べ残しや食材の余りが主な発生原因とされています（農林水産省平成28年度推計）。

家庭でも宴会でも「30・10運動」を実践して、食品ロス削減に取り組みましょう。

家庭で！

30・10運動～家庭編～で食品ロス削減！

冷蔵庫の中から食べられなくなった食品が出てきて、「もったいない」と思いながらごみに捨ててしまう…、そんな経験はありませんか？

冷蔵庫の中にあつたもので、捨ててしまったものってどんなもの？

- 食べられなくなった「ごはんのお供」（鮭フレークや海苔の佃煮など）
- 使い切れなかった「調味料」（タレ、ソースなど）
- 食べられなくなった「作り置きのおかず」
- 使い切れなかった「お肉や野菜」（在庫があるのに忘れて過剰に購入したもの、料理の残りなど）

どの食材も、傷む前に気付くことができれば捨てずに済んだかもしれません。
例えば、食べ切れない分は冷凍保存する、冷蔵庫内の在庫を確認し過剰購入を防ぐなど、少しの工夫で食品ロスを防ぐことができます。



食品ロスの約半分は家庭から出ています！

日本における食品ロスの約半分（年間約291万トン）は家庭から出ています。この量は、世界中で飢餓に苦しむ人に向けた世界の食糧援助量（平成27年度で年間約320万トン）に迫る深刻な状況となっています！

家庭での食べ残しや食材の余りを減らすため、**30・10運動～家庭編～**を実践してみませんか？

どんな運動？

毎月30日と10日を「冷蔵庫チェックデー」とし、冷蔵庫の中を定期的に整理整頓する習慣を作っていただくことで、食品ロス削減に取り組む運動です。まだ食べられる食材を無駄にせず、おいしくいただきます！



<冷蔵庫貼付用マグネットシート>

宴会でも！

30・10運動～宴会編～で食品ロス削減！

年末年始の忘新年会シーズンに、運動を実践いただいた方も多いのではないのでしょうか。これから春にかけても、送別会や歓迎会など、宴会の多いシーズンです。

今後も、宴会でぜひ30・10運動を実践し、楽しくおいしく料理をいただきながら食べ残しを減らしましょう。

どのように実践するの？

食べきれる量を注文しましょう。

乾杯後30分間は席を立たずに料理を楽しみましょう。

お開き前の10分間は自分の席に戻って料理を楽しみましょう。



<30・10運動啓発用コースター>

山形市は、市民団体「ごみ減量・もったいないねット山形」と一緒に「30・10運動」に取り組んでいます。その取り組みの一環として、「30・10運動啓発用コースター（宴会編）」「冷蔵庫貼付用マグネットシート（家庭編）」を配布しています。詳しくは、ごみ減量推進課へお問い合わせください。